

## 令和7年度 豊橋市健幸なまちづくり協議会歯科保健推進部会議事録

日時	令和7年12月4日(木) 午後2時30分から午後4時
場所	豊橋市こども発達センター 1階 研修室
出席者	豊橋市健幸なまちづくり協議会歯科保健推進部会委員6名
欠席者	なし
事務局	豊橋市健康部保健所健康増進課

### 議題(1)豊橋市歯科口腔保健推進計画(第2次)について 【資料 1-1、1-2】

事務局 資料1-1、1-2 説明。

A委員 フッ素洗口事業について、以前はやれていたがコロナ以降は煩雑なため施設側がやりたがらない側面があるので、実施率向上はむずかしいところ。  
フッ素については、市民へ認知されてきていると思う。  
園医や校医からの働きかけはやっているが、実施していないところへ個別にもう少し、働きかけをやっていけるとよいと思うがどうでしょうか。

事務局 これまで、やれない理由で、時間の確保が難しい、水道がないなどの学校があり、それぞれの学校へフッ素洗口の必要性は伝えてきたところではある。  
コロナ前の全校実施に向けては、未実施のところへは1校ずつお願いにいった。  
専門家からの声かけは有効だと思うので、学校医の先生にもご協力お願いします。

A委員 時間を合わせていくというのはむずかしい。  
健診等の機会に園・学校歯科医から伝えていく。

事務局 学校現場の生の声、率直な話としては、学校として必要性や趣旨は、校長、養護教諭は理解はしていると思う。洗口を毎週やるとなると、水に溶かす前は劇物であって、事前の準備をするところが、1校に1人しかいない養護教諭の負担になる。  
毎週朝の時間にやるとなると、朝会や読み聞かせなどあり限られた時間の中で実施するのが難しいという声は聴いている。

部会長 仕事が増えてしまうというところはあると思う。大変というのもあると思うが、これは全国的に長期的に洗口をやっている地域はう蝕が少ないことから今後もぜひ進めてほしいと思う。

部会長 むし歯自体は減少傾向にあると思うが、成人期になると歯周病が問題になる。  
妊産婦の歯科健診は微増。成人のところの健診も若い世代は増えてきているようだが、年代が上の世代は増えていない。出前講座で講話を希望することが増えてきているという話もあったが、他の生活習慣病とのかかわりも深い。  
なにか連携、保健指導する中で、医師会からご意見あれば。

B委員	人間は自分にメリットがないと動かないので、手元にあるメリットをいかしてこういう事業推進できるかということを考えていたが、保険証がマイナンバーカードになる事について、東京都はポイントを付けるとかあるが、健診をうけることでポイントをつけるなど、市のベースでできるかというところはあるが、正論を言ってもなかなか動かない。普段、糖尿病の方を見ていると思うが・・・。
部会長	実際、ポイントをつけるような自治体もあると思うが、豊橋市はできるのか。
事務局	国保の保健指導は、インセンティブをつけて受診率アップを目指してとりくんでいる。
部会長	糖尿病が進めやすいところだが、その他の部分でも医科の先生からも、歯科受診を進める意識を高めていってほしい。
部会長	高齢者の口腔機能のとりくみはあるか。
事務局	一体化事業の中で、高齢者の集いの場に職員が出向いて、オーラルフレイルの講座を開催したり特定健診のデータを用いてフレイルのリスクのある人には個別のアプローチをしている。また、歯科衛生士会に協力をいただいて、お口の講座を実施している。
部会長	フレイル自体は特別な検査が必要ではなく、質問票などで簡単なスクリーニングができる。薬局などでも取り組んでいけるものだと思うがいかがでしょうか。
C委員	歯科医師会さんと連携して、今年度から、様式を作ったり、せっかく治療にきたのに、薬の副作用で悪くなることはよくない。歯科医院ではマイナンバーカードから薬をみたりすることはあるか。
A委員	<p>自院では設備を整えているので見るのは可能だが、載せていない服薬情報が結構あるように感じている。歯科の方でも情報が載っているのは少ない。</p> <p>サイバーセキュリティの問題もあるし、設備投資としても、高齢の会員も多いので、進まない部分もある。</p>
C委員	<p>薬の管理をしっかりと、薬剤師会や医師会へ伝えていくことは続けていく。</p> <p>薬剤によって口腔乾燥する物もあるが、患者さんは季節的なものなのか気づかない。ほうっておく事で、薬の効果がでないとか、悪くなつてはいけけないので、薬の副作用での口腔乾燥等もしっかり伝えていく必要があると坎じる。</p>
部会長	<p>唾液腺の機能の問題なのか、自覚的なものなのか、しっかり見ていく必要はある。</p> <p>元気な高齢者だけではなく、障害者や要介護者の歯科健診も増やしていこうという所も目標があるが、今のところ、数字としてだせるものはないということである。</p>
A委員	歯科健診の市の予算がなくなったが、要介護者や障害者施設の歯科健診はどんな感じになっているのか。

事務局	対象者が拾いさけるかとか、実態がどうなっているかとわからない部分もある。
A委員	こどもの障害児とか、しっかり把握できていない部分もある。 その辺、しっかり調査をお願いしたい。
部会長	ニーズがどのくらいあるかなど把握していくことも重要と思われる。
D委員	入所以外のデイサービスの方、デイケアの方は、加算がついているので、しっかりやられていると思う。 個人的な意見にはなってしまうが、コロナが5類になっても、高齢者にとってはコロナはコロナのままなので、病院に行くのが怖いという。 インフルエンザも流行っている。「コロナになって肺炎になった」など話を聞くと、高齢者は外に出たがらない。病院に行かない。
部会長	つづいて、【議題2】乳幼児期の歯科健診の方向性について 事務局の方から説明をお願いします。
事務局	資料2、参考資料2説明。
E委員	その後、定期的な受診につながったか。 定期健診のタイミングをつたえる、受診した歯科医院からの働きかけがもう少しあれば。ポスターを張るとか、受診のタイミングやフッ素を塗布するタイミングを明確にしておく。
部会長	簡単な資料をお渡しして説明できるとよい。2歳の次は3歳となると1年あく。 健診はむし菌があるかないか見るだけではなくフッ素を塗るなども大事である。
事務局	保護者は健診しているから充分ですと考えている。
部会長	歯科の場合は、健診で異常があるかないかを確認するだけではなく、その時に保健指導を行うことが大事である。
A委員	アンケートはよかったので、意識調査を何年かごとに調査してもらえるとよい。 設問の中に、フッ素を塗った方がいいことを誘導できるような設問を考えてもらえるとよい。リーフレット作るとか、受診券を送る時に、一緒にそれ用のものをいれるといいかなと。医療機関の一覧が場所をとってしまっている。 高齢会員が増えている。 スタッフが少なくなっていることから、キャパ的に受け入れられる数は減ってきている。歯科医師会としても受け入れられるようにPRする。
部会長	子どもが医療機関にかかった場合、豊橋市は自己負担があるか？
事務局	市は高校生まで無料。

部会長	医療でかかると無料。2歳児歯科健診で受診して、フッ素を塗ると 500 円かかる。 この点をどうにかできないか？形はどうであれ、歯科に行ってくれればいい。 それらを併せて受診したとしてカウントできるといいがそれは難しいか。
部会長	その他で何かありますか。
事務局	令和8年度より使用する県内統一歯科検診票について説明。(参考資料4)
部会長	いろいろな判定内容が変わったとか、大きいところでは質問項目がとても増えた。 改めて、今まで通りでやっていたら全然違うということになるので、実際使うとなると、 歯科医師、歯科衛生士に対して実施までの1年かけて周知が必要だと思う。
A委員	変わるものは変わるで仕方がない。今までの豊橋市バージョンは歯科医師会と連携 して使いやすいものだった。いろいろレクチャーが必要かと思う。 医療機関コード233が先に印刷されているのは、すごくいいことだと思う。
部会長	歯周病菌の検査キットは具体的に何を使っているか教えてほしい。
事務局	アドチェックである。判定機で判定して数値としてリスクがでる。
部会長	判定の機械も購入しているのか。
事務局	機械は業者からレンタルしている。全くお口の健康を疑っていない若い世代の歯科 受診行動に繋がるのではないかという期待がある。